『このくらいは・・・だいじょうぶだろう』
過信と油断は、事故のもと

『かもしれない』・・・を習慣にして
『事故ゼロ』に

忘れるな！　あの瞬間のヒヤリハット

事故を起こさないために
相手を思いやり、余裕をもった運転が大切です

～2時間走行、15分休憩～

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

午後4時半　下校中の小学生男児
信号のない丁字路交差点
横断歩道で軽乗用車にはねられケガ

軽自動車運転の会社員女性、現行犯逮捕

◇登下校時間は、最も危険な時間帯！　スピード落として、細心の注意◇

2024/3/5(火)

5日午後4時31分、新潟県の信号機のない丁字路交差点で、横断歩道を渡っていた下校中の小学校低学年男児を軽乗用車ではねたとして、会社員の女性容疑者（38）を現行犯逮捕しました。男児は左足打撲などのけがを負い、病院に救急搬送されたが命に別条はありません。

夜間　停車中のバスに大型トラック追突
バスの後ろに立っていた3人死亡

トラック運転手の男が初公判で起訴内容をおおむね認める

◇前方で・・・何が起こるかわかりません　わき見は厳禁◇
◇目がかゆいは、眠気のサイン　運転時の休憩は、2時間ごとに◇
◇2時間走行、15分休憩　守ろう！　自分の命、他人の命◇

2024/3/5(火)

去年5月、宮城県の東北自動車道で大型トラックを運転中に停車していたバスに追突する事故を起こし、3人を死亡させた過失運転致死の罪に問われている男の初公判が5日、仙台地方裁判所で開かれました。男は起訴内容をおおむね認めました。起訴状によりますと、被告は、去年5月16日、大型トラックを運転中、安全確認を怠り、路肩付近にハザードランプをつけて停まっていたバスに追突し、乗っていた留学生ら3人を死亡させたとされています。検察側は、冒頭陳述で、「事故当時、バスの冷却水は基準値を下回っていて、死亡した3人はラジエーターに水を入れるために、バスの後に立っていた」と当時の状況を説明しました。弁護側は、「事故現場は夜間の高速道路上で、車の駐停車は予想されていない、また、バスが発炎筒などを使っていなかった」と指摘。

信号交差点　横断歩道を横断中の男性
右折の軽乗用車がひき逃げした疑い

軽乗用車運転の女を逮捕
軽自動車の進行方向と横断歩道の信号は青
警察が防犯カメラなどから捜査を続けていました

◇ショートカット右折をしない　（道路交通法にも禁止）◇
◇ショートカット右折は、ミラーとピラーの「死角」をつくる、歩行者を「見落とす」◇
◇右折時は、「大きく曲がって」、ミラーとピラーの「死角」をつくらない◇

2024/3/5(火)

警察は5日、ひき逃げの疑いで軽乗用車運転の女（70）を逮捕しました。容疑者は去年8月午後7時過ぎ、軽自動車を運転して信号交差点を右折したところ、横断歩道を横断中だった30代男性をはね、男性に両ひざ打撲などのけがを負わせましたが、救護の措置をとることなく逃走していました。当時、交差点では軽自動車の進行方向と横断歩道の信号は青でした。警察が防犯カメラなどから捜査を続けていました。警察の調べに対し、容疑者は「事故を起こしていないし逃げてもいない」と容疑を否認しています。